

救援基金 支援レポート Vol.4

発行日:平成30年10月18日

平成30年7月豪雨 被害を受けられた皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

～ 支援の輪 ～

平成30年6月28日以降、西日本を中心に記録的な大雨となった「平成30年7月豪雨」で被害を受けられた皆さま、いまだ困難な生活を強いられている、すべての皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

本会では、平成30年7月12日に第33期第1回支援検討会議を開催し、国内外で発生している各災害への支援方針について協議し、義援金の送金を決定いたしました。

～ 世界各地からのお見舞い ～

大阪北部地震、平成30年7月豪雨等、短い期間で災害が続き、世界各地でも日本の被災状況は大きく報道され、多くの方々が胸を痛めております。

世界の仏教徒の交流や友好を目的に設立され、本会が日本で唯一のセンターを務めております、WFB(世界仏教徒連盟)からもお見舞い文が寄せられ、緊急支援としてWFB人道支援基金より義援金、約3,000,000円が速やかに本会へ寄託されました。(お見舞い文P7-10掲載)

～ 義援金の手交・被災地の様子 ～

WFB(世界仏教徒連盟)から寄託された義援金と本会救援基金からの義援金を、特に被害が大きかった地域の3団体へ手交・寄託いたしました。各団体への義援金手交の様子は右写真の通りです。

■愛媛県仏教会(本会加盟団体)

平成30年7月25日に愛媛県仏教会を訪問し、会長の越智瑞啓師に、下記の通り義援金を手交いたしました。

WFB義援金	1,000,000円
本会義援金	300,000円
合計	1,300,000円

■岡山県仏教会(本会加盟団体)

平成30年7月31日に岡山県仏教会を訪問し、会長の本山瑞峰師に、下記の通り義援金を手交いたしました。

WFB義援金	1,000,000円
本会義援金	300,000円
合計	1,300,000円

■広島市仏教会

平成30年7月31日に広島市仏教会を訪問し、会長の佐藤元宣師に、下記の通り義援金を手交いたしました。

WFB義援金	1,000,000円
本会義援金	300,000円
合計	1,300,000円

今なお、避難されている皆さま、復旧作業に従事されている皆さまの安全と被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

本会で調査した本災害による被災状況は次ページの通りです。

平成30年7月豪雨
義援金手交の様子



愛媛県仏教会へ義援金手交
中央:越智 瑞啓 師 (愛媛県仏教会会長)
右:仁田 喜潤 師 (愛媛県仏教会副会長)
左:和多 善秀 (本会総務部長)



岡山県仏教会へ義援金手交
左から順に
新後 雅弘 師 (岡山県仏教会常任理事)
菊地 恵祐 師 (岡山県仏教会常任理事)
本山 瑞峰 師 (岡山県仏教会会長)
釜田 隆文 (本会理事長)
戸松 義晴 (本会事務総長)



広島市仏教会へ義援金手交
右:佐藤 元宣 師 (広島市仏教会会長)
中央:釜田 隆文 (本会理事長)
左:戸松 義晴 (本会事務総長)

「平成30年7月豪雨」被災状況

平成30年10月18日現在(引き続き調査中)

特に大きな被害があった倉敷市真備町では、亡くなった方が51名、重軽傷の方が100名以上と甚大な被害がでました。真備町仏教会によると、川の増水による浸水や近隣のアルミ工場の爆発による爆風被害等で、15カ寺中7カ寺が被害を受け、被害が無かった寺院では避難所として開放し、避難者の寝泊りや入浴等の支援を行ってまいりました。本会加盟宗派(59宗派)に行った被害状況アンケート調査結果より各地の被害状況は下記の通りです。

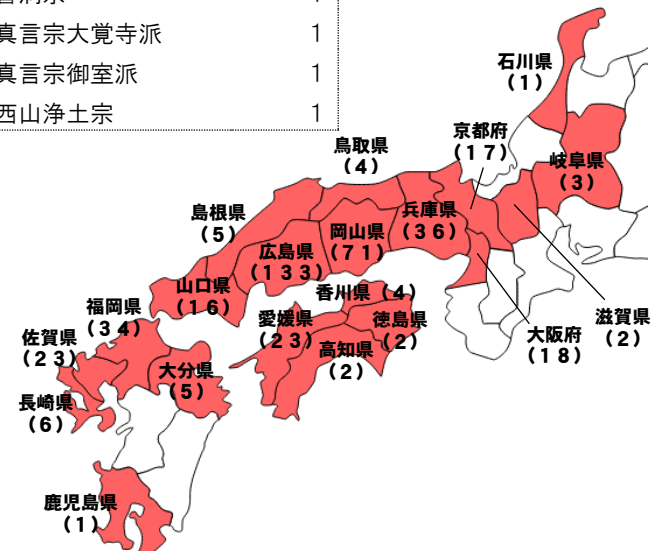
【各府県別 被災状況】

※各宗派で把握している各府県別の被災状況を、被災の程度問わず、被災の有無で、被災寺院数を調査。

石川県 (1)	岡山県 (71)	愛媛県 (23)	佐賀県 (23)
真宗大谷派 1	高野山真言宗 18	浄土真宗本願寺派 9	浄土真宗本願寺派 22
岐阜県 (3)	天台宗 14	臨濟宗妙心寺派 5	臨濟宗南禅寺派 1
真宗大谷派 2	日蓮宗 14	曹洞宗 3	長崎県 (6)
浄土宗 1	真言宗御室派 12	天台宗 3	黄檗宗 3
滋賀県 (2)	曹洞宗 5	浄土宗 2	浄土真宗本願寺派 2
真宗大谷派 1	浄土真宗本願寺派 4	真言宗御室派 1	高野山真言宗 1
天台宗(延暦寺) 1	真宗大谷派 3	香川県 (4)	大分県 (5)
京都府 (17)	真言宗須磨寺派 1	浄土真宗本願寺派 3	浄土真宗本願寺派 4
臨濟宗妙心寺派 6	広島県 (133)	真言宗醍醐派 1	真宗大谷派 1
高野山真言宗 3	浄土真宗本願寺派 61	高知県 (2)	鹿児島県 (1)
黄檗宗 2	曹洞宗 29	浄土真宗本願寺派 1	浄土真宗本願寺派 1
真言宗御室派 2	高野山真言宗 9	曹洞宗 1	
真宗大谷派 1	真言宗御室派 9	徳島県 (2)	
浄土宗(知恩院) 1	日蓮宗 7	真言宗御室派 2	
曹洞宗 1	浄土宗 5	福岡県 (34)	
金峯山修験本宗 1	真言宗醍醐派 4	浄土宗 10	
大阪府 (18)	真言宗大覚寺派 3	真宗大谷派 10	
真宗大谷派 6	金峯山修験本宗 2	浄土真宗本願寺派 6	
日蓮宗 6	本門佛立宗 2	日蓮宗 4	
黄檗宗 3	真宗大谷派 1	曹洞宗 1	
高野山真言宗 1	顕本法華宗 1	真言宗大覚寺派 1	
浄土宗 1	鳥取県 (4)	真言宗御室派 1	
真言宗御室派 1	高野山真言宗 3	西山浄土宗 1	
兵庫県 (36)	曹洞宗 1		
高野山真言宗 13	島根県 (5)		
曹洞宗 6	浄土真宗本願寺派 3		
天台宗 4	高野山真言宗 1		
浄土真宗本願寺派 4	曹洞宗 1		
真宗大谷派 3	山口県 (16)		
真言宗御室派 3	浄土真宗本願寺派 14		
浄土宗 1	高野山真言宗 2		
顕本法華宗 1			
真言宗大覚寺派 1			

合計被災寺院数
406ヶ寺

※県名わきの「(数字)」は各県の被災寺院数の小計



【各宗派別 被災状況】

浄土真宗本願寺派 134	天台宗 22	金峯山修験本宗 3
高野山真言宗 51	浄土宗 21	本門佛立宗 2
曹洞宗 48	臨濟宗妙心寺派 11	顕本法華宗 2
日蓮宗 31	黄檗宗 8	臨濟宗南禅寺派 1
真言宗御室派 31	真言宗大覚寺派 5	西山浄土宗 1
真宗大谷派 29	真言宗醍醐派 5	真言宗須磨寺派 1
合計 406		

「平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震」 救援基金寄附者ご芳名一覧

指定寄附額合計

20,408,323 円

平成30年7月豪雨、平成30年9月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震と、短い期間に激甚災害に指定されるような大きな災害が続いております。本会では、まず平成30年7月12日に開催した第33期第1回支援検討会議にて「平成30年7月豪雨」指定寄附口座を開設することを決定しましたが、続いて発生した北海道胆振東部地震への支援にも対応する為、平成30年9月18日に第2回支援検討会議を開催し、両災害に対して、「平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震」として指定寄附口座の開設し、平成30年9月18日から広く寄附金の募集を行うことと致しました。

お陰様を持ちまして多くの方々にご理解とご賛同を頂き平成30年10月18日現在下記の通り寄附金をお預かりしております。本会へ寄附金をご寄託頂きましたこと、厚く御礼を申し上げます。どうぞ今後ともお力添え賜りますようお願い申し上げます。

尚、お預かりした寄附金は、被災状況を鑑み本会会議にて協議を行い、支援先・支援内容を決定した後、加盟団体関係機関等に寄託し、現地の救援活動を支援してまいります。(平成30年4月1日～平成30年10月18日 敬称略・順不同)

「平成30年7月豪雨」

WFB(世界仏教徒連盟)
 UNIVERSAL BUDDHIST EDUCATION FOUNDATION(USA)
 日蓮宗宗務院
 真言宗智山派宗務庁
 真言宗豊山派
 臨済宗妙心寺派
 高野山真言宗 社会人権局
 天台宗 一隅を照らす運動総本部地球救援事務局
 金峯山修験本宗
 顕本法華宗
 西山浄土宗
 本門佛立宗宗務本庁
 浅草寺
 大本山川崎大師平間寺
 大本山大覚寺
 福島県仏教会
 新潟県仏教会
 栃木県仏教会
 一般財団法人埼玉県佛教会
 東京都仏教連合会
 神奈川県仏教会
 愛知県仏教会
 大阪府佛教会
 北区仏教会(東京都)
 小山市仏教会(栃木県)
 宮崎市仏教会(宮崎県)

日野町仏教会(滋賀県)
 甲賀町仏教会(滋賀県)
 水口地区佛教会(滋賀県)
 能登川地区仏教会(滋賀県)
 妙定院 小林正道(東京都)
 玉林寺 長谷琢堂(東京都)
 妙経寺(東京都)
 建福寺(埼玉県)
 圓滿寺 西郊良光(神奈川県)
 大蔵寺 佐藤直道(神奈川県)
 金蔵院(神奈川県)
 玄向寺 荻須眞教(長野県)
 寂光院 松平實胤(愛知県)
 光照寺 今村公夫(滋賀県)
 福泉寺(滋賀県)
 嚴浄寺(滋賀県)
 出口隆順(滋賀県)
 高木義明(長崎県)
 全日本葬祭業協同組合連合会
 一般社団法人日本石材産業協会
 株式会社カナメ
 ティケイヘンデルアート
 有限会社新宿アカウンティングオフィス
 他、匿名希望2件

「平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震」

高野山真言宗 社会人権局
 臨済宗円覚寺派
 時宗宗務所
 顕本法華宗
 西山浄土宗
 愛知県仏教会
 滋賀県仏教会
 気仙沼仏教会(宮城県)
 葛飾仏教会(東京都)
 中央寺(北海道)
 建福寺(埼玉県)
 龍華寺(神奈川県)
 圓滿寺 西郊良光(神奈川県)
 森由美子(神奈川県)
 玄向寺 荻須眞教(長野県)
 福泉寺 佐々木義雄(滋賀県)
 山口展弘(福岡県)
 齊藤清美(福岡県)
 全日本葬祭業協同組合連合会
 公益社団法人日本仏教保育協会
 公益社団法人全日本仏教婦人連盟
 一般社団法人日本石材産業協会
 一般社団法人 PRAY for (ONE)
 株式会社公益社
 ティケイヘンデルアート
 有限会社新宿アカウンティングオフィス
 他、匿名希望4件

「平成30年7月豪雨」に対する寄附金の寄託を受けました 敬称略・順不同



日蓮宗

左:松永 慈弘 師 (日蓮宗総務局長)
右:戸松 義晴 (本会事務総長)



真言宗豊山派福祉基金

左:星野 英紀 師 (真言宗豊山派宗務総長)
右:戸松 義晴 (本会事務総長)



真言宗智山派

右:芙蓉 良英 師 (真言宗智山派宗務総長)
左:戸松 義晴 (本会事務総長)

(公財) 全日本仏教会救援基金支援レポート



臨濟宗妙心寺派

右: 栗原 正雄 師 (臨濟宗妙心寺派宗務総長)
左: 戸松 義晴 (本会事務総長)



天台宗

一隅を照らす運動総本部 地球救援事務局
右: 杜多 道雄 師 (天台宗宗務総長)
中央: 釜田 隆文 (本会理事長)
左: 戸松 義晴 (本会事務総長)



高野山真言宗

中央: 添田 隆昭 師 (高野山真言宗宗務総長)
右: 佐々木 基文 師 (高野山真言宗社会人権局長)
左: 戸松 義晴 (本会事務総長)



金峯山修験本宗

中央: 五條 良知 猊下 (金峯山修験本宗管長)
右: 五條 永教 師 (金峯山修験本宗宗務総長)
左: 戸松 義晴 (本会事務総長)



川崎大師平間寺

右: 出井 宏樹 師 (川崎大師平間寺執事長)
左: 釜田 隆文 (本会理事長)



栃木県仏教会 (2度寄託を受けました)

中央: 平澤 照隆 師 (栃木県仏教会理事長)
右: 稲木 善友 師 (栃木県仏教会事務局長)
左: 戸松 義晴 (本会事務総長)



一般財団法人埼玉県佛教会

左: 倉持 秀裕 師
(一般財団法人埼玉県佛教会会長・本会監事)
右: 戸松 義晴 (本会事務総長)



東京都仏教連合会

右: 新美 昌道 師 (東京都仏教連合会理事長)
左: 和田 学英 (本会財務部長)



小山市仏教会 (栃木県仏教会所属)

中央: 片柳 潔志 師 (小山市仏教会会長)
右: 大巴 徳龍 師 (小山市仏教会副会長事務局長)
左: 和多 善秀 (本会総務部長)



神奈川県仏教会

右: 和田 大雅 師 (神奈川県仏教会会長)
左: 和田 学英 (本会財務部長)



UNIVERSAL BUDDHIST EDUCATION FOUNDATION

右: Andy Kaoh 師 (President・会長)
左: 堀池 友綯 (本会国際部長)



公益社団法人日本仏教保育協会

左から順に
釜田 隆文 (本会理事長)
緑谷 一雄 師 ((公社)日本仏教保育協会理事長)
高山 久照 師 ((公社)日本仏教保育協会副理事長)
麻布 恒子 氏 ((公社)日本仏教保育協会財務常任理事)



右:中尾 了信 師 (北海道仏教会連盟会長)
中央:和多 善秀 (本会総務部長)
左:和田 学英 (本会財務部長)

平成30年北海道胆振東部地震に対し、北海道仏教会連盟へ義援金を手交

平成30年9月6日午前3時8分頃発生した、平成30年北海道胆振東部地震により、土砂崩れや家屋の倒壊による甚大な被害が発生しました。

この災害により犠牲となられた方々に衷心より哀悼の意を表し、災害により困難な生活を強いられているすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本地震被害並びに台風21号の被害に対して、WFB(世界仏教徒連盟)より、お見舞い文が寄せられております。(お見舞い文P15-16掲載)

本会では、平成30年9月18日に第2回支援検討会議を開催し、義援金の拠

出を決定するとともに、激甚災害に指定されたこともふまえて、「平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震」として指定寄附口座の開設いたしました。その後、平成30年9月27日に北海道仏教会連盟を訪問し、会長の中尾了信師に、義援金500,000円を手交いたしました。今般の地震では、寺院建物の損壊や墓石の倒壊や納骨堂内の被害が発生し、大規模停電により復旧作業にも影響が出ています。余震による二次災害には、十分お気をつけいただき、一日も早い復旧復興を切に願います。また、本会では本災害に対する義援金を引き続き受付しております。詳しくは、本会webまたは、本レポートP6をご確認ください。



左から順に
瀧藤 尊淳 師 (大阪府佛教会副会長)
加藤 定厚 師 (大阪府佛教会会長)
釜田 隆文 (本会理事長)
村山 廣甫 師 (大阪府佛教会副会長)

大阪府北部を震源とする地震に対し、大阪府佛教会へ義援金を手交

平成30年6月18日午前7時58分頃、大阪府北部を中心として発生した強い地震により、尊い生命を奪われた方々、ご遺族の方々に衷心より哀悼の意を表し、被害を受けられたすべての皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。本地震被害に対して、WFB(世界仏教徒連盟)ならびにWFB加盟団体より、お見舞い文が寄せられております。(お見舞い文P11-14掲載)

本会は、本地震による被害に対し、義援金1,000,000円を寄託するため、平成30年7月22日に大阪府佛教会を訪問し、会長の加藤定厚師に義援金を手交いたしました。

被災されたすべての皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧と再建を願っております。

ロヒンギャ難民危機に際し、仏教NGOネットワークへ義援金を手交

現在、ミャンマーの主にラカイン州北部に住む少数民族民族ロヒンギャの人々が、隣国バングラデシュに避難し、難民化している事態が起きており、本会ではこの事態に対し、苦しみの中にある難民の人々が一刻も早く平穏な暮らしに戻り、平和的解決が実現することを願い、人道的支援を行っていく所存であります。



右:茅野 俊幸 師 (BNN事務局長)
左:戸松 義晴 (本会事務総長)

平成30年9月11日、本会はロヒンギャ難民危機に対し、本会加盟団体をはじめ、多くの方々からお寄せいただいた浄財を寄託するため、仏教NGOネットワーク(以下:BNN)の茅野俊幸事務局長に義援金1,700,000円を手交いたしました。

BNNでは、現地で難民支援を行っている団体「ジュマ・ネット」を通じて支援活動を行っております。現地では、衛生面の問題や教育・医療の問題等、様々な問題があり、長期的な支援を必要としております。

ジュマ・ネットでは、現地NGOのPULSEと連携し、衛生面における、特にトイレ不足に着目し、簡易トイレの設置を支援していく予定です。簡易トイレは1基あたり約13,000円で設置することが可能で、1基で1世帯が約10年間使用することができます。今回は第1回目の支援として約155基のトイレを設置する予定です。

平成30年度救援基金 寄附者ご芳名一覧

(平成30年4月1日～平成30年10月18日)敬称略・順不同

「指定なし」	「東日本大震災」	「海外人道支援等」
愛知県仏教会	匿名希望1件	浄土真宗本願寺派
新潟県小千谷市仏教会		曹洞宗
法要寺青年仏教会(埼玉県)	「熊本地震」	浄土宗
北条仏教会(愛媛県)	融通念佛宗 他、匿名希望1件	天台宗国際平和宗教協力協会
妙定院 小林正道(東京都)		大阪府佛教会
真照寺 堀井隆川(東京都)	「平成30年7月豪雨」	公益社団法人全日本仏教婦人連盟
吉祥院 曾我龍慶(兵庫県)	「平成30年北海道胆振東部地震」	宗教法人 善光寺(長野県)
太福寺 佐久間大道(兵庫県)	P3にご芳名を記載	圓滿寺 篠原法傳(兵庫県)
齊藤清美(福岡県)		井上一生(埼玉県)
高木義明(長崎県)		塩月光夫(宮崎県)
一般社団法人 PRAY for (ONE)		全日本宗教用具協同組合
他、匿名希望6件		有限会社新宿アカウンティングオフィス
		他、匿名希望3件

本会へ寄附金をご寄託頂きましたこと、厚く御礼を申し上げます

救援基金 寄附金額・義援金拠出額・救援基金残高

寄附口座	寄附金		義援金		基金残高	備考
	(平成30年4月1日～10月18日)		(平成30年4月1日～10月18日)		(平成30年10月18日現在)	
指定なし	21件	542,492円	2件	1,500,000円	11,425,119円	※1
東日本大震災	1件	30,000円	0件	0円	0円	※2
熊本地震	2件	50,000円	0件	0円	31,003,789円	
平成30年7月豪雨 平成30年北海道胆振東部地震	82件	20,408,323円	4件	4,400,000円	16,008,323円	※4
海外人道支援等	15件	1,976,158円	2件	2,200,000円	424,158円	※3
スマトラ沖地震	0件	0円	0件	0円	1,436,564円	
合計	121件	23,006,973円	8件	8,100,000円	60,297,953円	

※1「指定なし」の義援金拠出は島根県地震(500,000円)・大阪府北部地震(1,000,000円)。別途郵便振替手数料支払。

※2「東日本大震災」残高は過去に助成金・義援金を拠出した際に残高が不足していたことから、「指定なし」より拠出した為、寄附額は過去の高と相殺し、残高は0円。

※3「海外人道支援等」の義援金拠出は台湾東部地震(500,000円)・ロヒンギヤ難民支援(1,700,000円)。

※4「平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震」は愛媛県仏教会、岡山県仏教会、広島市仏教会(各1,300,000円)、北海道仏教会連盟に(500,000円)拠出。

注)「スマトラ沖地震」は平成30年10月18日現在、寄附金受付は終了しております。

救援基金へのご寄附のお願い

本会では、国内外における災害救援や人道的支援等に対し緊急且つ迅速な対応をすべく、救援基金(指定寄附口座・指定なしの寄附口座)を常時開設しております。

この度、短い期間に大きな災害が続いており、改めて「平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震」として指定寄附金口座を開設しました。お預かりした寄附金は、被災状況を鑑み本会会議にて協議を行い、支援先・支援内容を決定した後、加盟団体関係機関に寄託し、現地の救援活動を支援してまいります。

皆さまの温かいご浄財を、本会「救援基金」までお寄せ頂きますよう、ご支援ご協力の程、お願い申し上げます。

救援基金 寄附金 受付 口座

【郵便振替口座】口座番号:00110-9-704834 / 口座名義:全日本仏教会救援基金

※銀行振込をご希望の場合、本会財務部(03-3437-9275)までお問い合わせください。郵便振替用紙を本会よりご送付する事も可能です。

※寄附金の送金時には、下記の指定寄附先及びご芳名の公開の可否をご明記願います。

- ・指定寄附先 **1. 平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震**
2. 東日本大震災 3. 熊本地震 4. 海外人道支援等 5. 指定なし
- ・機関紙・webサイトへのお名前の公開 **可・不可**

※「救援基金」へのご寄附は東京都の条例指定対象寄附です。ご寄附された個人・法人は、所轄の税務署へ本会発行の領収書を添付して申告することにより、所得税の控除及び損金算入(限度額以内)が適用されます。



Message from H.E. Phan Wannamethee
President of The World Fellowship of Buddhists
on Deluges and Landslides in South Western of Japan
to the Japan Buddhist Federation,
All Japan Young Buddhist Federation,
and Entire Buddhist Denominations in Japan



Since Tuesday 3 July B.E. 2561 (2018) and the past following days after that the unusual three times torrential rains for the whole July swept various parts of southwestern part of Japan and set off flash flooding that caused rivers to burst their banks and triggered landslides in large parts of its area. Its impact have affected nearly 100 people dead, dozens of people were missing and more than two million people across 23 prefectures have to evacuated to the safer zone. However, Japanese authority also warned that landslides could strike even after the rain subsides as the calamity shaped up to the worst potentially in decades.

Only the passing June that we learned of earthquake in Osaka and now the unprecedented deluges has submerged southwestern part. On many occasions in history the Japanese Nation has faced great difficulties and suffering, on each occasion their fortitude and practical ability to overcome and in due course prosper. It is our sincere wish that following period to full recovery will be as short as possible.

Globalization has made the nations of the world are entwined in such a way that the pain of one nation is felt by all, likewise to our Japanese fellow. Our most sincere condolences for all losses of life, we join with the Japanese people in their sorrow, prayers and efforts to deal with the enormous challenges that are to be faced and overcome.

May the lost ones attain the Bliss of Nibbana.

With the utmost concern and respect yours in the Dharma,

Phan Wannamethee

The World Fellowship of Buddhists

平成30年7月豪雨 WFB(世界仏教徒連盟)からのお見舞い文 (和訳)

7月3日からの数日、平年の7月一カ月の雨量の3倍という記録的な豪雨が、西日本の多くの地域を襲い、河川が決壊し、大規模な洪水や土砂崩れを引き起こしました。100名近くの死者と多くの行方不明者、そして23府県の200万人以上の人々に避難指示・勧告が出されました。この数十年で最悪の豪雨災害となり、雨が止んだ後も土砂崩れの可能性があるため、気象庁は警戒を呼び掛けています。

大阪北部地震のニュースをつい6月に聞いたばかりなのに、今度は未曾有の豪雨により西日本の地域が水没してしまいました。日本はその歴史の中において、大惨事に幾度も直面してきました。その度に不屈の精神と実的な能力によって乗り越え、そして繁栄してこられました。一日も早い完全な復興を心よりお祈りいたします。

グローバル化によって世界の国々は複雑に絡み合い、一国の痛みは全ての国々の痛みであります。同様に、日本の皆様の痛みを今、世界の人々も感じています。犠牲となった方々のご逝去に際し、心より哀悼の意を表します。日本の皆様と共に悲しみ、祈り、乗り越えるべき大きな試練に向かって共に取り組んでいきたいと思っております。

亡くなられた方々が安楽の境地に至らんことを。

WFB世界仏教徒連盟
会長 パン・ワナメッティ

世界仏教徒連盟 (WFB : The World Fellowship of Buddhists) とは？

世界仏教徒連盟(WFB)は、世界の仏教徒が交流友好親善をはかるとともに、仏陀の崇高な教義の普及と世界平和への貢献することを目的に、1950(昭和25)年に設立されました。現在、本部をタイのバンコク市に置き、大乘・上座部等の違いを超え、世界各国の約200地域センターが加盟しています。

日本からは全日本仏教会(JBF)が、日本仏教界を代表して加盟し、最高顧問・副会長・執行役員・副事務総長・人道支援委員会委員長等を務め、日本仏教の発信や世界で起きる諸問題を日本仏教の立場から提言しております。

設立以来、連盟最高の議決機関である世界仏教徒会議(WFB大会)が2年に一度開催され、各種委員会の活動報告がされるとともに、組織改編や将来の活動計画が決定されています。

世界仏教徒会議(WFB大会)は、日本では、1952(昭和27)年9月の第2回大会、1978(昭和53)年10月の第12回大会、2008(平成20)年11月の第24回大会が催され、本年2018(平成30)年11月には第29回大会を開催する予定です。

世界仏教徒会議 開催概要

会 議：第29回WFB世界仏教徒会議
第20回WFBY世界仏教徒青年会議
第11回WBU世界仏教徒大学会議 日本大会

日 時：2018(平成30)年11月5日(月)～9日(金)

会 場：マロウドインターナショナルホテル成田・曹洞宗大本山總持寺(神奈川県)





WFB (1209) 71/2561

12 July B.E. 2561 (2018)

The Most Reverend Ryobun Kamada
Chairman of the Board
and
Reverend Yoshiharu Tomatsu
Secretary General
Japan Buddhist Federation (JBF)
4-7-4, Shiba-Koen, Minato-ku,
Tokyo 105-0011, Japan

Respected The Most Reverend Ryobun Kamada,

Our condolence to Deluges and Landslides in Japan

It is with great sadness to receive the news about the loss of lives and destruction of lands and construction affected by deluges and landslides happened in South Western of Japan since Thursday 5 July B.E. 2561 (2018) and afterwards. Please accept my deepest condolences for the loss of life and destruction caused by unprecedented heavy rainfall. My heartfelt sympathy for all those who have been affected in one way or another by this tragedy.

In this regard I have instructed Secretary-General of The WFB to allocate the WFB Humanitarian Fund Relief to Japan equal to 1,000,000 Thai Baht (approximately 3,000,000 Japanese Yen) as immediate fund. It will be transferred to Japan Buddhist Federation (JBF) for further processing as deem appropriate. Therefore, I, as President of The WFB, have assigned Secretary-General of The WFB, to co-operate closely with JBF so that humanitarian relief to Japan can be extended in time. Meanwhile, The WFB Headquarters has also solicited for humanitarian assistance from our subordinate organs (the World Fellowship of Buddhist Youth, and the World Buddhist University) and Regional Centres.

With unity and calmness of Japanese people I believe that the situation will be recovered real soon. In times of immense crisis and human distress, please know that the sorrow of Japanese Nation is shared by all members of The WFB, its subordinate organs and Regional Centres.

On behalf of The WFB, may the blessing of Triple Gem protect people of Japan from harm and make situation be back to normal.

May the lost ones attain the Bliss of Nibbana.

Respectfully yours in the Dhamma,

Phan Wannamethee, Mr.
President

The World Fellowship of Buddhists

平成30年7月豪雨 WFB(世界仏教徒連盟)からの緊急支援 (和訳)

7月5日から発生した西日本豪雨による洪水及び土砂崩れで犠牲となった方々、そして地面や建物が破壊されたとの報を受け、大変心を痛めております。未曾有の豪雨による破壊そして人命の損失に、心よりお悔やみ申しあげます。この惨事によって何らかの影響を受けた皆様に対し、心よりお見舞い申しあげます。

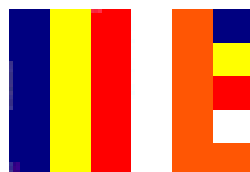
この災害に対する緊急支援として、1,000,000タイバーツ(およそ3,000,000円)をWFB人道支援基金より割り当てるよう、WFB事務総長に指示致しました。この緊急支援は全日本仏教会に送られ、その後貴会により適切に処理されるものです。したがって私、WFB会長は、日本への人道支援が今後延長されることを見込み、全日本仏教会と緊密に連携するようWFB事務総長に任命いたしました。それと同時に、傘下団体であるWFBY、WBU、およびWFB地域センターにも日本への人道支援を募っております。

日本人の団結と落ち着きをもってすれば、状況はきっと早く回復すると信じております。大きな危機、また人々の苦しみが訪れた今、日本の皆様の悲しみを、WFBのメンバー、地域センター、関係団体、皆の心の中で分かち合っているということを知ってください。

日本の皆様が三宝のご加護を賜り、安全で正常な状態に戻られますよう、WFBを代表しお祈り申し上げます。

亡くなられた方々が安楽の境地に至らんことを

WFB世界仏教徒連盟
会長 パン・ワナメッティ





**Message from H.E. Phan Wannamethee
President of The World Fellowship of Buddhists
Osaka Earthquake 18 June B.E. 2561 (2018)
to the Japan Buddhist Federation,
All Japan Young Buddhist Federation,
and Entire Buddhist Denominations in Japan**



The magnitude 6.1 earthquake struck Osaka including Kyoto on morning of 18 June B.E. 2561 (2018) at the depth about 13 kilometres (8 miles) with the strongest shaking in its north area. The quake rattled one of Japan industrial heartlands, large parts of western Japan, halting trains and factories across the region including damaged nationally cultural assets in Kyoto and Nara prefectures neighbouring Osaka. At least 4 people were dead and 336 people have been injured across multiple prefectures in western Japan. The officials in neighbouring Fukui Prefecture informed that no problems have been found at nuclear reactors. It was the strongest shaking registered in Osaka under records which date back to B.E. 2466 (1923). As the quake was occurred inland, there was no sign of a tsunami. However, people are warned of further seismic activity in the next week or so.

The unprecedented earthquake happened in Osaka, Japan reminds us that we are all vulnerable human-being. It is impossible not to be distressed to witness the destruction and the loss of life.

Our deepest concern and sympathy are unreservedly extended to the families who have lost loved ones, and to the injured. We wish that they will recover very soon. In times of immense crisis and human distress, please know that the sorrow of our Japanese fellow is shared in the saddest of contemplation by all members of The WFB, Regional Centres and networking organizations.

On behalf of the World Fellowship of Buddhists, please accept our most sincere condolences to all losses of life.

May the lost ones attain the Bliss of Nibbana.

The World Fellowship of Buddhists

大阪府北部を震源とする地震 (和訳)

WFB(世界仏教徒連盟)からのお見舞い文

6月18日の朝、大阪府北部を震源とするマグニチュード6.1(震源の深さ13キロ)の地震が発生しました。日本産業の中心部を直撃したこの地震は、西日本の広範囲におよび、鉄道や工場の稼働停止、また大阪に近い京都、奈良では文化財の被害も確認されました。現在4の死亡、336人の負傷者が西日本の県内で確認されています。大阪府の近隣県である福井県の原子力発電所では異常は確認されていないとのことです。

気象庁が1923年に観測を開始して以来、大阪府では最大の地震となります。この地震は内陸で発生したため、津波の影響はありませんでした。しかし、今後も余震の可能性があり、気象庁は充分注意するよう呼び掛けています。

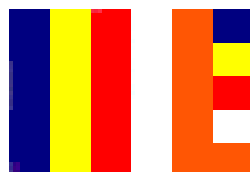
この度の大阪における未曾有の震災は、私たちが、か弱い人間であるということを感じさせてくれます。被災者の方々の生活が壊され命が失われるのを目の当たりにして、私たちは、心を痛めています。

家族や愛する人をなくされた皆さま、怪我をされた皆さまへ、心よりお見舞い申し上げます。1日も早く、皆さまが生活を取り戻されますよう願っております。大きな危機、また人々の苦しみが訪れた今、日本の皆様の悲しみを、WFBのメンバー、地域センター、関係団体、皆の心の中で分かち合っているということを知って下さい。

WFBを代表しこの度の震災で犠牲となった方々のご逝去に際し、謹んで哀悼の意を表します。

亡くなられた方々が安楽の境地に至らんことを

WFB世界仏教徒連盟
会長 パン・ワナメッティ



大阪府北部を震源とする地震 (和訳) W F B (世界仏教徒連盟)加盟団体からのお見舞い文

スリランカ全セイロン仏教徒会議からのお見舞い文



සමස්ත ලංකා බෞද්ධ මහා සම්මේලනය
PRESIDENT
ALL CEYLON BUDDHIST CONGRESS



19 June 2018

Condolence Message from the President of the All Ceylon Buddhist Congress, Sri Lanka

Sincere condolences to the Government and the people of Japan, on the tragic loss of lives, and damage to property & infrastructure caused by the strong earthquake in Osaka our thoughts and prayers are with all those affected.

On behalf of the All Ceylon Buddhist Congress, please accept our most sincere condolences to the families of those who have lost their lives, those desperately waiting for news and those injured.

Yours in the Dhamma,

Jagath Sumathipala
President

この度の大阪における大地震によって、亡くなられた方々、また建物やインフラの損傷などの報を受け、日本政府そして日本の皆様に対し、謹んで哀悼の意を表します。また、被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

全セイロン仏教徒会議(All Ceylon Buddhist Congress)を代表し、愛する方々をなくされたご家族に対し、心よりお悔やみ申し上げます。また未だ安否確認を待っているご家族、そして怪我をされた方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。
仏法のもとに

全セイロン仏教徒会議
会長 ジャガ・スマシィパラ

ネパール ダルモダヤ・サバからのお見舞い文

Dear Venerable Sirs,

We were deeply saddened to hear about the earthquake with tragic loss of life and damage to infrastructure and buildings including the historic temples and shrines in Kyoto. We join WFB President and all other members in conveying our condolence and concern for the affected families and people. I hope JBF members and property are safe and not affected adversely.

We know that the Japanese people and the authorities will overcome this difficult time with their well-known resilience and courage so that normalcy can be returned soon.

Having gone through a devastating earthquake ourselves in recent years we can understand the pain and damages that the victims go through. The aftershocks are particularly scary and disturbing. Our thoughts are with you.

Yours in Dhamma,

Padma Jyoti

and members of

Dharmodaya Sabha, Nepal

この度の地震とそれによる人命の損失、また京都の寺社などを含む建造物の損壊の報を受け、私たちは深く悲しんでおります。パン・ワナメッティ会長はじめWFBの会員全員共々、被災された皆さまとご家族にお見舞い申し上げます。また全日本仏教会メンバーの皆さまにおかれましては、ご無事であることを願っています。

迅速な復興のため、日本人の皆さまと政府はその力強い回復力と勇気をもって、この度の難局を乗り越えることと存じます。

近年ネパールで壊滅的地震を経験した私たちは、犠牲となった皆さまの痛みや被害を理解できます。余震は特に恐ろしく、被災地の皆さまの不安はいかばかりかと拝察致します

仏法のもとに

ネパール ダルモダヤ・サバ
副会長 パドマ・ジョティ
並びに 会員一同

インターナショナルブッダエデュケーションインスティテュート 会長からのお見舞い文

Rev. L. Ashvaghosh MNMT

Chairperson,
International Buddha Education Institute
Head
Sakyasingha Order of Ideal Theravada Buddhism
Cell : +91-9411114241
e-mail : ashvaghosh.m.muk@gmail.com



Uttarakhand Govt.

बौद्ध सदस्य
Member (Buddhist)
अल्पसंख्यक आयोग
Minority Commission
उत्तराखण्ड सरकार
Govt. of Uttarakhand

कार्यालय / Office
अल्पसंख्यक कल्याण भवन
Alpsankhyak Kalyan Bhawan
दहरादून उत्तराखण्ड भारत
Dehradun, Uttarakhand India
Date : 20/06/2018

この度の地震により命が失われたとの報を受け、悲しんでおります。
亡くなられた方々そして愛する人を失われた方々に対し、心よりお悔
やみ申しあげます。

この嘆かわしい出来事に際し、我が国インドを代表し、一市民として
哀悼の意を表します。


Dear Saito

I was saddened to hear the tragic loss of life caused by the earthquake. I want to express my sincere sympathy to people of Japan who lost their lives and their loved ones in this recent earthquake. As citizen of India would like to express sorrow on behalf of my country for this recently occurred unfortunate happening.

My all blessings and support are with the people of Japan. I would prayer people of Japan for moving forward in life. May the Buddha give strength to all the people of japan bear this unbearable pain and irreversible loss.

I request for the power of the triple Gem to bless the people of Japan.

Yours in Dhamma


(Rev. Loknayak Ashvaghosh MNMT)
Member (Buddhist)

Mr. Akisato Saito
Chairperson
The Japan Buddhist Federation

Rev. Loknayak Ashvaghosh MNMT

Chairperson

International Buddha Education Institute

日本の皆さまが前に進めますよう、心から応援し、お祈り申しあげます。
耐え難い苦しみと取り返すことのできない喪失に耐える日本の方々に、
仏さまが力を与えてくださいますよう。

日本の皆様に三宝のご加護が賜らんことを。

インターナショナルブッダエデュケーションインスティテュート 事務総長からのお見舞い文



OFFICE OF THE SECRETARY-GENERAL
INTERNATIONAL BUDDHA EDUCATION INSTITUTE

Regional Centre of IBEI, Bangalore, Thailand
IBEI Secretariat, Buddha Lok, Meerut Road, Hapur-Panchsheel Nagar (UP) India
E-mail: ibei.wfbr@gmail.com, website: www.ibei.org, Cell: +91-9690050047, +91-9808379703
Ref.01/Message/2561/17-18 Date 25.06.2018

To

Mr. Akisato Saito
Chairperson
Japan Buddhist Federation

Dear Dhamma Friend,


I was shocked to learn of the earthquake struck that 4 people dead and injured over 336 in Osaka including Kyoto and Nara on 18 June Morning.

I was to convey, on behalf of the International Buddha Education Institute Hapur, our sincere and heartfelt condolences. Our thoughts and prayers are with people of Japan, in particular with those affected by the earthquake.

My warmest love and wishes are with people of Japan.

Buddha bless you all.

Yours in Dhamma,


(Aki H. Otani)
Secretary-General

6月18日に大阪、奈良、京都を襲った地震により4名が犠牲
となり、336名が負傷されたとの報を受け驚いております。

International Buddha Education Institute に成り代わり、
心よりお悔み申しあげます。

私たちの心と祈りは、被災された方々はじめ日本の皆様と
共にあります。

日本の皆様へ、心からお見舞い申しあげます。

仏様のご加護を賜りますよう。

Aki H. Otani

Secretary General

International Buddha Education Institute

สำนักงานใหญ่
องค์การพุทธศาสนิกสัมพันธ์แห่งโลก
616 ในอุทยานเบญจสิริ
ซอยสุขุมวิท 24 แยกซอยเมธินิเวศน์
ถนนสุขุมวิท เขตคลองเตย กรุงเทพฯ 10110
โทร : 02 661 1284-7 โทรสาร : 02 661 0555



HEADQUARTERS
THE WORLD FELLOWSHIP OF BUDDHISTS

616 BENJASIRI PARK
SOI MEDHINIVET OFF SOI SUKHUMVIT 24
SUKHUMVIT ROAD, BANGKOK 10110, THAILAND
TEL : +66 2 661 1284-7 Fax : +66 2 661 0555

Website : www.wfbhq.org
E-mail : wfb_hq@truemail.co.th

To: Reverend Ryubun Kamada
Chairman of the Board
Japan Buddhist Federation

From: Phan Wannamethee
President
The World Fellowship of Buddhists

Date: 7 September B.E. 2561 (2018)

Sympathetic Note

My sincerest condolence to all people of Japan who were affected by powerful Typhoon Jebi that struck southwestern part of Japan including the strong earthquake afterwards in Hokkaido.

It was sadden and has given me a deep concern to learn of damages and hardship of Japanese people suffered from consequent of natural disasters happened so often since end of the passing August B.E. 2561 (2018). Houses, buildings and any constructions can be rebuilt with the co-operation of people and government. We believe that with the strong heart and unyielding mind of Japanese people, any obstacles they can overcome very soon.

Please accept heartfelt condolences from all members, Regional Centres of the World Fellowship of Buddhists, the Headquarters including its subordinate organs – the World Fellowship of Buddhist Youth and the World Buddhist University – and people of Thailand.

Our thoughts and prayers are with Japanese people during this difficult time of loss. Please let me know if there is anything we can do.

May the loss ones attain the Bliss of Nibbana.

With the utmost concern in the Dharma,

Phan Wannamethee
President

Phallop Thaiarry
Secretary-General

台風 21 号の被害・ 平成 30 年北海道胆振東部地震に対し、 WFB (世界仏教徒連盟) からの お見舞い文

(和訳)

お悔やみの言葉

この度、近畿地方を中心に日本の南西部を襲った台風 21 号によって被災された皆様、そして北海道で発生した大地震によって被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

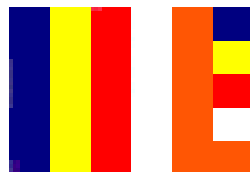
先ごろより度重なる自然災害に苦しむ日本の皆様の被害と苦難の報を受けることは悲しく、非常に心配しております。家屋や建物は人々や政府の協力で建て直すことができます。日本人の皆様はその強い心と不屈の精神ではやく乗り越えると私たちは信じています。

WFB 世界仏教徒連盟の全メンバー、地域センター、本部及び関係団体、WFBY、WBU、そしてタイの国民より、つつしんで哀悼の意を表します。

私たちの思いは日本の皆様と共にあります。私たちにできることがあればどうか教えてください。

失われた命が安寧の境地にいたらんことを。

2018年9月7日
WFB世界仏教徒連盟
会長 パン・ワナメッティ



第16次災害救援活動助成金 募集要項 (一部変更)

本会では甚大な自然災害に対し、幅広く迅速な支援を行うことを目的に支援金の拠出を行っております。この度の「平成30年7月豪雨」の激甚災害指定を受けて、ご案内しておりました第16次災害救援活動助成金の支援対象に本災害を加え、本会救援基金による被災地支援を行うはこびとなりましたので改めてご案内いたします。
※助成金を申請なさる方は、必ず下記項目をご確認いただき、所定の書式にてお申込みください。

■支援名称■

公益財団法人全日本仏教会 災害救援活動助成金

■対象事業■

寺院(住職・教師等)が主体の団体による、国内外の被災地を対象にした下記の支援活動を、助成金拠出対象といたします。

- 1: 被災地におけるボランティア活動
(例: 炊き出し、傾聴ボランティア、瓦礫撤去、足湯等)
- 2: 被災地の子どもを対象とした保養事業
(例: 被災地の子どもを他府県に招いたキャンプ開催等)

※同一団体からの申請は1件のみといたします。
対象活動期間内の、同一事業複数開催は一事業とみなします。
※被災地等での法要厳修のみは恐れ入りますが、助成金の対象となりませんので、予めご了承くださいますよう、お願い申し上げます。

■助成金額■ (今回の変更点)

- ・平成30年7月豪雨
事業経費の30%、5万円を上限に拠出
- ・平成30年北海道胆振東部地震
事業経費の30%、5万円を上限に拠出
- ・熊本地震
事業経費の30%、10万円を上限に拠出
- ・東日本大震災
事業経費の30%、5万円を上限に拠出
- ・その他被災地
事業経費の30%、5万円を上限に拠出

※事業経費とは支援活動にかかる費用(交通費、宿泊費、材料費、運搬費、講師謝礼等)であり、主催者の日当などは含みません。

■対象期間■

2018(平成30)年2月1日から
2018(平成30)年9月30日までに実施した事業

■締切日時■

2018(平成30)年10月31日(水)16時必着
※全ての提出物の締め切りとなります。

■申請方法及びその後の流れ(必ずお読みください)■

下記書類に必要事項をご記入の上、ご提出下さい。

<郵送・宅配でのご提出書類>

- ①助成金申請書兼活動報告書
- ②事業決算書
- ③事業経費の領収書コピー
- ④支援活動を行った方々の感想や本会に対する要望
(400字程度・メール提出可)
- ⑤保養事業は参加者へ配布した日程表・チラシ等の資料
(コピー可)

※助成金申請書兼報告書、事業決算書は
本会webサイトよりダウンロードいただけます。

<メールでのご提出データ>

- ⑥支援場所・支援内容がわかるもの・支援対象者が写っている写真3枚。
(写真は、本会webサイト・機関誌等で掲載をさせて頂く場合がございます。可能な限り鮮明な写真をお願い致します。)

■助成金拠出の可否のお知らせについて■

・助成金拠出の可否につきましては、本会支援検討会議で助成審査を厳格に行い、後日当該団体の指定口座に送金致しますのでご確認ください。

■ご提出先■

- ・郵送、宅配でのご提出書類宛先
公益財団法人全日本仏教会 財務部
〒105-0011 東京都港区芝公園 4-7-4 明照会館 2階
- ・メールでのご提出データ送付先アドレス
zaimu@jbf.ne.jp

尚、詳細については本会webサイトをご覧ください。
<http://www.jbf.ne.jp/>

過去5年間の救援基金 義援金・助成金等の拠出一覧

【平成30年度救援基金拠出】(平成30年10月18日現在)

対象事項	寄託及び支援先	金額(単位:円)
島根県地震	島根県仏教会	500,000
台湾東部地震	台北駐日経済文化代表處	500,000
大阪北部地震	大阪府佛教会	1,000,000
平成30年7月豪雨	愛媛県仏教会	1,300,000
平成30年7月豪雨	岡山県佛教会	1,300,000
平成30年7月豪雨	広島市仏教会	1,300,000
海外人道支援等(ロヒンギャ難民支援)	仏教 NGO ネットワーク (BNN)	1,700,000
平成30年北海道胆振東部地震	北海道仏教会連合	500,000
合 計		8,100,000

【平成29年度救援基金拠出】

対象事項	寄託及び支援先	金額(単位:円)
スマトラ沖地震	NPO 法人 PLAJA	500,000
平成29年7月九州北部豪雨	福岡県仏教連合会	1,816,010
平成29年7月九州北部豪雨	大分県	500,000
海外人道支援等(ロヒンギャ難民支援)	国連 UNHCR (難民高等弁務官事務所) 協会	1,000,000
第14次災害救援活動助成金(48件)	各ボランティア団体	4,361,847
第15次災害救援活動助成金(21件)	各ボランティア団体	1,051,286
合 計		9,229,143

【平成28年度救援基金拠出】

対象事項	寄託及び支援先	金額(単位:円)
スマトラ沖地震	NPO 法人 PLAJA	500,000
ネパール大地震	WFB	5,000,000
タイ国洪水	WFB	1,000,000
熊本地震	熊本県	3,000,000
熊本地震	大分県	1,000,000
第12次災害救援活動助成金(81件)	各ボランティア団体	8,270,917
第13次災害救援活動助成金(24件)	各ボランティア団体	1,896,158
合 計		20,667,075

【平成27年度救援基金拠出】

対象事項	寄託及び支援先	金額(単位:円)
スマトラ沖地震	NPO 法人 PLAJA	500,000
ネパール大地震	ネパール大使館	1,000,000
ネパール大地震	仏教 NGO ネットワーク (BNN)	10,500,000
ネパール大地震	全日本仏教青年会	249,913
関東・東北豪雨	常総市役所	3,237,018
台湾南部地震	台北駐日経済文化代表處	300,000
第10次災害救援活動助成金(62件)	各ボランティア団体	5,333,000
第11次災害救援活動助成金(35件)	各ボランティア団体	2,639,000
合 計		23,758,931

【平成26年度救援基金拠出】

対象事項	寄託及び支援先	金額(単位:円)
フィリピン台風	仏教 NGO ネットワーク (BNN)	2,511,877
WFB 人道支援基金	WFB	1,000,000
第8次災害救援活動助成金(69件)	各ボランティア団体	6,223,000
第9次災害救援活動助成金(41件)	各ボランティア団体	3,676,000
合 計		13,410,877

